

すべてのひとが

いきいきと暮らす社会を目指して



有限会社アライブ
(盛岡市)
代表取締役

中野 美知子

有限会社アライブは2001年、私が21歳の時に開業した不動産会社です。

私は地元盛岡の人間ですが、当初は人脈もほぼない中での開業でしたので、お知り合いの紹介ですぐに盛岡青年会議所へ入会、その中で経営者としての学びと、ひととの繋がりの尊さを通じて、自己成長の機会を得ることができました。

当社は開業当時からスタッフを女性だけに限定し、女性目線で提案できる不動産会社として現在に至っています。当時はまだまだ女性の社会進出は少なく、本当に1人でできるのかなという不安は大いにありました。しかし、多くの皆様に支えられ今日まで、このまちで生き、その特性を活かした活動をさせていただいてきました。この盛岡で生きていく、そして生活という「生きる」に直結するこの商売から、ひとの「いきいき」を創って

いきたい、という想いから会社名を「アライブ」としています。

▽盛岡青年会議所理事長という経験

2018年1月から12月まで、一般社団法人盛岡青年会議所(以下、盛岡J.C)第66代理事長を務めました。盛岡J.Cは全国の青年会議所の中でも女性の割合が非常に高い組織で、多様性に溢れ、お互いを理解し受容し合える環境が整っています。

私の人生において盛岡J.Cでの活動は切っても切り離せない年月といえます。会社の創業期から現在に至るまで、自分自身の成長と会社の利益を両立し、社会と仕事に活かしていくことばかりを考え続けた19年間は今の私自身を形成しているといっても過言ではありません。同じ世代の地域の仲間と共に、多くの挑戦ができ

た青年期が自分自身の変化と成長に繋がり、そこに大きな覚悟が生まれたことが、盛岡J.Cの理事長となるきっかけだったと今は思えます。

1年間の理事長経験から、ひととの関わりの重要性を深く学ぶことが出来ました。リーダーとは決して牽引するだけのものではないということにも気づきました。多くのひとの勇気となり、見守るといふ立場からひとの力を引き出していくことを学べた理事長という機会、かけがえのない時間でした。今はその穏やかさと強さの中で生きることの経験を活かし、日々を積み重ねることを大切にしています。

▽ひとが活きる場所、ひとが生きるまち

私は、盛岡というまちが好きです。春に吹く優しい風も、夏の太鼓の音も、秋の川のせせらぎも、冬の白鳥の美しさも、穏やかな景

色も、そこにいる優しい人たちも、このまちに生き、生かされてきて良かったと心から想えるまちです。

不動産屋という職業柄、在ったものが無くなる、新しいものに変化する、ということが日常的に行われていきます。でもそこには、ひとの意思があり、ひとの人生があります。その人生の力になるのが私たち不動産業者なのだと思っています。

住まいは、ひとの「生きる」そのものです。そして、その住まいから生き活きとした日常が溢れること。それは、当たり前のことのようで、当たり前ではないことに直面することが多々あります。不便な生活を強いられているのにも関わらず、想い出との対比ですとそこに住んでいるひともいらっしゃいます。思い描いた通りの人生ではなかったかもしれないけど、変化に順応し豊かな生活を送られている方もいらっしゃいます。ひとは変化が不安です。しかし、私たちが生きる地球上で唯一変化しないことは、変化し続けることだけです。世の中の変化に合わせて変化を導ける、そんな存在であり続けたいと願っています。

▽ **明日に種を蒔き続けること、それが使命**

私はこのまちで、多くの種を受け取ったと



本年4月に発足した日本CCRC協会役員会の様子

感じています。種のうちはそのものの価値に気づくことはなかなかできません。でも一生懸命向き合っていると、花や実がつき成果となります。自然摂理と同様に、私たちも常にだれかに種を蒔き、自分自身も種を受け取り、物事に向き合っていくことそのものが大切だと思っています。私自身ができることは数少ないですが、きっかけという種から生まれた花は、また次の種を生みます。それは必ず多くのひとの強さやしなやかさに繋がっていくと私は信じています。

これからは、技術革新や人口減少で社会の仕組みがどんどん変化していきます。その中

で私ができることは、ひとの心が豊かになる生活の場を提案し続けていくことだと思っています。どんなに技術が進んでも、ひとの心を動かすのは最後までひとです。そしてその技術を創っていくのもひとです。より心を揺さぶり閃き、新しいことに果敢に挑戦し続けることを忘れず、常に未来に向けて取り組んでいきます。

▽ **最後に**

不動産会社のほかに、現在は介護・医療方面にも取り組みを拡げています。生きていくうえで逃れられない「老後」という時間をいかに周りの家族と共に笑顔で豊かに生きていくかを考え、医療ウェアラブルのソフトウェア開発事業に取り組んでいます。

また、介護と医療と不動産をつなげる橋渡しとして日本CCRC協会（※CCRCとは Continuing Care Retirement Communityの略で、健康な時から介護時まで継続的なケアが提供される高齢者の共同体を意味します。）を立ち上げ、今年から活動しています。

不動産を通じて、ひとの心が豊かになる「生きる」を今後も考え行動を継続していきます。地域の明日を拓くのは紛れもなく行動し続けることだと信じて、これからも共に働く仲間、そして地域の皆様と歩んでいきたいと思っています。